



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.175 2017 December

今月の記事

Top News

○平成29年度人材育成セミナー「内部質保証ワークショップ（第1回）」を開催 ……1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○2,283人から学士の学位授与の申請 ー平成29年度10月期申請分ー ……3

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○16人から博士の学位授与の申請 ー大学院博士課程相当の課程修了者ー ……5

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○豪州の質保証機関TEQSAとのスタッフ交流プログラム（受入）を実施 ……6

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○第7回日中韓質保証機関協議会及び第6回日中韓大学交流・連携推進会議に出席 ……7

○ドイツ研究振興協会（DFG）来訪 ……8

○マカオ理工学院（MPI）主催国際会議に出席 ……9

評価事業

機関別認証評価等について

○訪問調査の実施 ……10

機構の窓

○会議の開催状況 ……11

主要行事日程

○Schedule（12月～2月） ……12

TOP NEWS

○平成 29 年度人材育成セミナー「内部質保証ワークショップ（第 1 回）」を開催

当機構では、大学及び評価機関等の質保証に係る活動を実効性のあるものとするため、大学等と連携して質保証に係る人材の能力を向上させることを目的として「人材育成セミナー」を企画しています。平成 29 年度は「内部質保証」をテーマにして、①内部質保証ガイドラインの説明、②2 大学からの自大学における取組事例の報告、③参加者による自大学における内部質保証の状況分析、そして、その結果をもとに④グループ討論、という構成のワークショップ（2 回開催）を企画しました。

第 1 回目は、平成 29 年 11 月 6 日（月）に、竹橋オフィス 1112 会議室にて開催しました。

当日は、高等教育機関等において評価・質保証に関係する業務に携わっている方々を中心に、35 名の参加がありました。

プログラム前半は、武市研究開発部長の開会挨拶に続き、林研究開発部教授から内部質保証ガイドラインの説明がありました。続けて、岩手大学評価室の大川 一毅 教授から「内部質保証ガイドラインと認証評価自己評価書での活用実際」と題して、大阪大学高等教育・入試研究開発センター長の川嶋 太津夫 教授から「研究型総合大学における内部質保証～現状と課題～」と題して、自大学における取組について報告がありました。



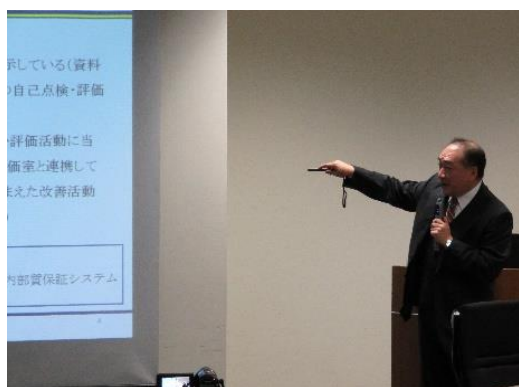
研究開発部長 武市教授



ガイドラインを説明する林教授



説明を聞く会場の様子



岩手大学 大川教授



大阪大学 川嶋教授

プログラム後半では、土屋研究開発部教授の進行のもとに、あらかじめ 6 つのグループに分けられた参加者同士で、各グループ 1 名のファシリテーターを交えながら、グループ討論、全体討論が行われました。



グループ討論の説明をする土屋教授



グループ討論の様子

グループ討論では、プログラム前半の内容を受け、ワークシートに自大学で内部質保証がどの程度機能しているか項目ごとに○△×を記入した後、その結果をグループ内で共有し、グループ内で○が多かった項目や×が多かった項目を確認しました。特に×がついた項目についてはなぜ×であるのか、どのようにすれば改善できるかについても議論を行いました。全体討議ではグループ討論の結果について各グループから発表されたのち、IR や資格教育と内部質保証の関連に関する意見も寄せられて、議論が活発に展開されました。



全体討論の様子

最後に、佐藤評価事業部長の閉会の挨拶をもって、ワークショップは盛況のうちに終了しました。なお、第 2 回目は、平成 30 年 1 月 29 日（月）に開催を予定しています。

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

〇2,283人から学士の学位授与の申請 ―平成29年度10月期申請分―

短期大学、高等専門学校卒業者及び専門学校修了者等 649 人から、19 専攻分野 39 専攻の区分にわたり学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成 29 年 11 月 8 日（水）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成 30 年 2 月 15 日（木）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成 30 年 3 月末までに学士の学位を授与する予定です。

また、短期大学・高等専門学校の特例適用専攻科修了見込み者 1,634 人から、9 専攻分野 18 専攻の区分への特例による学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成 29 年 11 月 8 日（水）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を経て、平成 30 年 2 月 15 日（木）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成 30 年 3 月末までに学士の学位を授与する予定です。

<平成 29 年度 10 月期学士の学位授与申請者数>

（基礎資格別）

基 礎 資 格	申請者数（人）
短 期 大 学 卒 業 者	597 (265)
高 等 専 門 学 校 卒 業 者	1,447 (1,369)
専 門 学 校 修 了 者	195
高 等 学 校 等 専 攻 科 修 了 者	1
大 学 中 退 者	26
飛 び 級	1
大 学 卒 業 者	16
外 国 資 格	0
合 計	2,283 (1,634)

（見込み申請者の内訳）

区 分	申請者数（人）
短期大学専攻科修了見込者	599 (265)
高等専門学校専攻科修了見込者	1,445 (1,369)
合 計	2,044 (1,634)

※（）内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

※（）内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

(専攻の区分別)

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数(人)	専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数(人)
文 学	国 語 国 文 学	8	保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	18 (10)
	英 語 ・ 英 米 文 学	5 (1)		放 射 線 技 術 科 学	22
	歴 史 学	3 (3)		理 学 療 法 学	12
	心 理 学	1		作 業 療 法 学	1
教 育 学	教 育 学	231 (134)		言 語 聴 覚 障 害 学	11
社 会 学	社 会 学	1	鍼 灸 学	鍼 灸 学	1
	社 会 福 祉 学	1	口 腔 保 健 学	口 腔 保 健 衛 生 学	54 (26)
教 養	比 較 文 化	5		口 腔 保 健 技 工 学	5
	地 域 研 究	2	栄 養 学	栄 養 学	52 (27)
社 会 科 学	社 会 科 学	2	工 学	機 械 工 学	349 (317)
法 学	法 学	5		電 気 電 子 工 学	475 (459)
政 治 学	政 治 学	1		情 報 工 学	185 (175)
商 学	商 学	1		応 用 化 学	185 (174)
経 営 学	経 営 学	9 (8)		生 物 工 学	22 (21)
理 学	数 学 ・ 情 報 系	3		材 料 工 学	34 (34)
	物 理 学 ・ 地 学 系	1		土 木 工 学	114 (107)
	生 物 学 系	1		建 築 学	73 (65)
	総 合 理 学	3		社 会 シ ス テ ム 工 学	10 (9)
看 護 学	看 護 学	286 (37)	農 学	農 学	1
			家 政 学	家 政 学	6
			芸 術 学	音 楽	35
				美 術	49 (27)
			合 計		2,283 (1,634)

※ ()内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○16人から博士の学位授与の申請 ―大学院博士課程相当の課程修了者―

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されている防衛医科大学校医学教育部医学研究科の平成 29 年 9 月修了者 16 人から、博士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成 29 年 11 月 8 日（水）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、医学・薬学専門委員会が指定されました。

専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、平成 30 年 2 月 15 日（木）開催予定の学位審査会で最終審査が行われ、平成 30 年 2 月 23 日（金）に学位記伝達式を行い、合格者には防衛医科大学校を通して、博士（医学）の学位を授与する予定です。

<博士の学位授与申請者数>

認 定 課 程 名	専攻分野	申請者数（人）
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	医 学	16
合 計		16

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○豪州の質保証機関 TEQSA とのスタッフ交流プログラム（受入）を実施

当機構と豪州高等教育質・基準機構（TEQSA: Tertiary Education Quality and Standards Agency）の覚書に基づく協力として、第3回スタッフ交流プログラムを、平成29年11月13日（月）から17日（金）の5日間、当機構にて実施しました。TEQSA より、評価実務を担う Sarah Stevens 氏及び Olivia Tsang 氏が当プログラムに参加しました。

当プログラムは、両機関が有する質保証に関する情報・知見の交換や、協力関係の深化を目的としており、当機構の教職員による大学評価、学位授与、国際連携、調査研究等の各事業の説明、大学機関別認証評価への訪問調査のオブザーブ参加、文部科学省において大学設置に係る手続きや外国調査等に関する説明を行ったほか、TEQSA 職員からは TEQSA の組織概要及びリスクベース評価の枠組や指標等についての説明がなされました。

また、当プログラムの最終日には、TEQSA 職員による講演会を開催し、TEQSA 及び豪州高等教育における最近の取組・動向に関する発表がなされました。

日本では機関別認証評価の第3サイクルを目前に控え、豪州においても、質保証の基盤となる高等教育基準枠組（HESF: Higher Education Standards Framework）2015 が本年1月に発行されるなど、変化を迎える中で、双方の機関が担う質保証機関としての新たな取組について相互理解を深めることができ、大変意義のある交流となりました。



TEQSA 職員との記念撮影

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○第7回日中韓質保証機関協議会及び第6回日中韓大学交流・連携推進会議に出席

平成29年11月22日(水)、韓国大学評価院(KUAI: Korean University Accreditation Institute)の主催により、質保証機関レベルの会合である「第7回日中韓質保証機関協議会」が韓国・ソウルで開催され、当機構の岡本理事、竹中研究開発部主幹らをはじめ、KUAI、及び中国教育部高等教育教学評価センター(HEEC: Higher Education Evaluation Center of the Ministry of Education)の関係者が出席しました。

会合では、各国の質保証制度について報告があり、日本側からは、竹中主幹が認証評価制度の概要や第3サイクルへの展望について報告を行いました。その後、3カ国の質保証機関間での相互協力を強化するための方策について意見交換を行いました。KUAIより、相互協力の一環として、質保証に関連した共同研究を行う旨の提案があり、今後実現に向けた具体的な検討を行っていくことに合意しました。

翌日の11月23日(木)には、韓国教育部の主催により、政府、大学、質保証機関、産業界等の有識者で構成される「第6回日中韓大学間交流・連携推進会議」が開催され、日本側委員として岡本理事が、また「キャンパス・アジア」のモニタリングに関する報告者として竹中主幹が出席しました。竹中主幹からは、当機構が平成27年に実施した「キャンパス・アジア」の2次モニタリングの結果と、平成28年より開始した本格実施プログラムに対する3次モニタリングの計画を中心に報告を行いました。3次モニタリングについては、実施時期を平成30年とすること及びモニタリング基準をはじめとする枠組みのほか、詳細な手法については今後各国政府の指定を受けた機関間で検討していくことが合意されました。

「キャンパス・アジア」の拡大方策については、現在の本格実施(第2モード)終了後も、引き続き高等教育における学生移動を促進することを再確認し、アジア全域への拡大(第3モード)を目指す具体的な方策については、次回の日中韓大学間交流・連携推進会議(平成31年、日本にて実施予定)で議論することが合意されました。

本会議の終了後には、「キャンパス・アジア」事業実施大学である成均館大学を訪問し、担当教員よりプログラムの概要について説明があったほか、実際にプログラムに参加している学生と意見交換を行う機会が設けられました。



日中韓質保証機関協議会の集合写真



日中韓大学交流・連携推進会議の集合写真

○ドイツ研究振興協会（DFG）来訪

平成29年11月21日（火）、ドイツ研究振興協会（DFG：[独語名称] Deutsche Forschungsgemeinschaft、[英語名称] German Research Foundation）より、Anke Reinhardt 氏、Christoph Limbach 氏、Ilka Paulus 氏、Achim Tieftrunk 氏の4名が当機構を訪問しました。今回の訪問は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）がDFGとの間で実施している5日間の人事交流プログラムの一環として実施されたものです。

竹中研究開発部主幹による冒頭挨拶の後、林教授より、当機構が行う認証評価や国立大学法人評価の概要、日本の大学改革の動向について説明を行い、また、DFGより、事業概要、若手研究者育成プログラム、ドイツの高等教育機関の優れた研究の取組に対する支援である「エクセレンス・ストラテジー」について紹介がありました。

DFGからは、日本の国立大学における機能別分化の仕組みや当機構が行う国立大学法人評価における研究評価の手法等について高い関心が寄せられました。また、活発な意見交換が行われ、日本とドイツの大学における研究を取り巻く現状や課題について理解を深めました。

なお、当機構では、刊行物「[諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要](#)」をウェブサイトにて公開しており、日本版とドイツ版を含めた9か国の概要を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。



DFG との意見交換の様子

○マカオ理工学院（MPI）主催国際会議に出席

平成29年11月22日（水）から11月23日（木）にかけて、マカオ理工学院（MPI: Macao Polytechnic Institute）とアジア太平洋質保証ネットワーク（APQN: Asia-Pacific Quality Network）の共催により、高等教育にかかる国際会議がマカオで開催され、当機構からは蝶研究開発部助教及び国際課職員1名が出席しました。

第9回目となる本会議は、「教授法と学習の質保証における新たな発展」をテーマに開催され、4つの基調講演、8つの分科会、ワークショップ及びパネルディスカッションで構成されました。

中国、マカオ、香港、ポルトガル等の大学関係者並びに APQN や香港學術及職業資歷評審局（HKCAAVQ: Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications）等の質保証機関関係者が参加し、教授法と学習の質保証に関する大学での優良事例の紹介や、新たなトレンドを踏まえた質保証の在り方等についての発表、意見交換がなされました。

分科会では、蝶助教が「Defining Student Affairs in the Standards of Evaluation by Academic Discipline in Japanese Higher Education」をテーマに、日本の大学における多様化する学生支援担当部署の役割及び質保証についての発表を行いました。



登壇する蝶助教



発表者の集合写真

評価事業

機関別認証評価等について

○訪問調査の実施

平成29年10月から、大学、高等専門学校及び法科大学院の評価対象校に対し、書面調査で確認できなかった事項等を中心に、対象校関係者との面談、教育現場の視察及び学習環境の状況調査等により対象校の状況を調査すること等を目的とした訪問調査を実施しました。今後は書面調査の結果に訪問調査で得られた知見を加えて総合的に判断し、評価結果の取りまとめを行います。

機構の窓

○会議の開催状況

・学位審査会

第3回 平成29年11月8日（水） 15時00分～16時30分

議事

- 1 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学位取得者数について
- 2 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学士の学位授与の審査の付託について
- 3 認定課程修了者に係る学士の学位授与の審査の付託及び審査の結果について
- 4 認定課程修了者に係る修士の学位授与の審査の結果について
- 5 認定課程修了者に係る博士の学位授与の審査の付託について
- 6 認定課程修了見込者に係る修士、博士の学位授与の審査について
- 7 短期大学の専攻科の認定に係る審査の付託について
- 8 短期大学の専攻科に係る認定の再審査の付託について
- 9 省庁大学校の学士相当課程に係る認定の再審査の付託について
- 10 短期大学及び高等専門学校の特例適用専攻科の変更の届出に係る審査の付託について

・国立大学教育研究評価委員会

第48回 平成29年11月30日（木） 14時00分～16時00分

議事

- 1 第2期中期目標期間の教育研究評価に係る法人アンケートについて
- 2 第3期中期目標期間の教育研究の状況の評価について
- 3 分析項目の学系別検討体制について
- 4 その他

・平成29年度大学ポートレートステークホルダー・ボード

平成29年11月27日（月） 10時00分～12時00分

議事

- 1 大学ポートレートの改善に向けた取組について（有識者ヒアリング）
- 2 大学ポートレートの改善に向けた取組について
- 3 その他

主要行事日程

○ Schedule

12月

日	行事名	担当課
10日	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 平成 29 年度 10 月期学位授与試験（面接）（東京地区）	学位審査課
17日	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 平成 29 年度 10 月期学位授与試験（小論文） （東京地区、大阪地区）	学位審査課

1月（2018年）

日	行事名	担当課
10日	大学機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
12日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第2回）	評価支援課
24日	法科大学院認証評価委員会（第2回）	評価支援課
29日	平成 29 年度人材育成セミナー「内部質保証ワークショップ （第2回）」	評価企画課
31日	大学ポートレート運営会議（第8回）	評価企画課

2月

日	行事名	担当課
15日	学位審査会（平成 29 年度第 4 回）	学位審査課

